

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	防災・安全交付金事業			
予算科目	2 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 下水道課		電話番号(内線): 0	
記入者情報	所属長: 泉 仁		担当責任者: 松野 章彦	
実施期間	【開始年度】平成 25 年度 【開始年度】平成32年度			
事業の対象	都市計画区域内の事業認可区域			
事業の必要性	雨水ポンプ場は昭和56年度から稼働している施設であり、機器の耐用年数をこえ、老朽化が進み維持管理費に苦慮しているため。			
施工方法、場所	【施工方法】 請負		【施工場所】 都市計画区域内	
運営方法	【運営方法】 委託		【運営費(予定)】 直営	
事業の目的	下水道の整備による生活環境の改善及び公共用水域の水質確保及び雨水の浸水防除			
事業の内容	社会資本総合整備計画を基に順次更新等していくが、多額の費用が掛かるため事業費の平準化を図り防災・安全交付金事業で実施し、市の財政負担を軽減す			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	0	88,400	0	25,900
	人件費	0	1,627	813	1,627
	合計	0	90,027	813	27,527
人件費 内訳	人工数	0.00	0.20	0.10	0.20
	人件費単価	0	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	1,627	813	1,627
財源内訳	国庫支出金	0	26,900	0	8,500
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	50,000	0	12,400
	その他	0	13,127	813	6,627
	一般財源	0	0	0	0

実施スケジュール							
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
雨水ポンプ場長寿命化等		25,900	90,700				
年度別事業費		25,900	90,700				
財 源	国・県支出金		8,500	33,700			
	地方債		12,400	42,200			
	その他		5,000	14,800			
	一般財源						
国・県支出金等名称	防災・安全交付金						

成果指標				
成果指標	進捗率 1.8% = 25,900千円 ÷ 1,451,000千円進捗率(%) = 当年度迄の実績費計 ÷ 全体計画事業費 (1,451,000千円)			
指標設定の考え方	全体計画金額に対する実績金額＝進捗率を指標に基幹的施設(雨水ポンプ場等)整備の効率的な施工管理に努める。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標32年度
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	0			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	老朽化した施設の延命化・ライフサイクルコストの削減を図るため、長寿命化計画を推進している。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会の抽出事業により、外部評価に諮ることとする。

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・老朽化した施設を先に備える、メンテナンスをするという範疇であり、決して安心できるものではないと思う。予算面でもしっかり進めることはある。その点は評価したい。・課題認識が明確でないのは改善すべきである。・この考え方は、ライフサイクルコストというものさしがあり、その中の一つの便法として長寿命化計画があると捉えた方が、制度や予算の枠組みとしては正確だと思う。・課題認識の部分は現状を説明するのではなく、現状はこうなっているが、今後こういう改善があると認識しているとか、解消していく方向を考えているとか、そういう記述がないと課題認識にはならない。</p>
---------------------------	--

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>現状のまま継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	